

| | | | | | |
|--|-----------|---------|-------------|-----|-------|
| 事務事業名 | 藍工房管理運営事業 | 事務事業No. | 20203000632 | 所属課 | 生涯学習課 |
| (4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 衰退しつつあった藍染めを保存伝承する目的でふるさと文化振興基金を使い、藍染め講座を実施する中で真壁藍保存会が設立。実際に紺屋だった土地・家屋を修繕し、真壁藍保存会に管理運営を委託した。平成30年度より、市は土地建物賃料（3年契約）の支払いのみとし、管理運営は真壁藍保存会が直営で行っている。 | | | | | |
| (5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 化学染料を一切使っていない天然藍のため、日本古来の藍色の美しさを認識し天然藍を維持する材料費が高価なため染色代が高く、希少価値があり高級感もある。 | | | | | |

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

| 評価項目 | |
|------|--|
| 現状維持 | ① 政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 藍染めの体験をすることで、桜川市の伝統工芸に対して認識や関心が高まる。また、総合計画の伝統文化の保存伝承につながる。 |
| | ② 公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 市の伝統文化として捉えているため、公共性に取り組む必要がある。今後も真壁藍保存会により天然藍が適切に管理されるよう併せて人材の育成にも支援する。 |
| | ③ 成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？) <input type="checkbox"/> 向上余地がない 真壁藍保存会の管理技術、藍染技術の向上、デザインセンスの向上により、現在も体験学習や講座希望者の人数の増加など変化がみられる。 |
| | ④ 廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 真壁藍染めをなくすことになり、市民の文化活動が停滞し伝統工芸継承が滞る。 |
| 有効性 | ⑤ 類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) <input type="checkbox"/> 具体的な手段、事務事業名 <input type="checkbox"/> 余地がない 類似事業がない。 |
| | ⑥ 事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？) <input type="checkbox"/> 削減余地がない 平成30年から真壁藍保存会に直接管理運営してもらい、市は土地及び施設の賃貸契約と支払いのみとすることにより、事業費及び業務の削減を図った。現状ではこれ以上の削減は難しい。 |
| 公平性 | ⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 市民が誰でも利用可能であり、受益の負担は公平である。 |

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

| (1) 1次評価者としての評価結果 ① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり | | (2) 全体総括(振り返り、反省点) 藍染めに興味をもつひとは増えているが、保存会会員がなかなか増えない状況である。そのため通常は3年で終了となる公民館の定期講座を今後も継続して実施していき、広く普及させていく。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|------|--|----|----|--|-----|--|--|----|----|----|----|------|--|---|---|----|---|---|---|
| (3) 今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 | | (4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th>向上維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table> | | | | コスト | | | 削減 | 維持 | 増加 | 成果 | 向上維持 | | ○ | × | 低下 | × | × | × |
| | | コスト | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 削減 | 維持 | 増加 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 成果 | 向上維持 | | ○ | × | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 低下 | × | × | × | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 | | (6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> ⑤ | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

| | | | |
|---|--|--|--|
| (1) 課長評価 | | (2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合) | |
| 課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出 | | 確認欄 <input type="checkbox"/> | |